

中部学院の旬の話題をお届けする



中部学院大学報

Chubu Gakuin University & College News

2020
vol.

44

- 特集① 創設者 片桐龍子先生 生誕130周年**
- 特集② 新型コロナウイルス感染症対策**
- 特集③ 躍進 看護リハビリテーション学部**

12月21日（月）クリスマス礼拝 開催予定（関キャンパス）

3月20日（土）卒業式 挙行予定（岐阜市・長良川国際会議場）





コロナに 負けない！

～私の#STAYHOME～

短期大学部社会福祉学科
美・デザインコース／医療事務コースより



表 紙／オンライン授業の様子より
＝関キャンパス、L.E.A.P. Plaza

中部学院大学報
2020 vol. 44
2020年9月発行

Chubu Gakuin
University & College News
CONTENTS
(発行:大学報編集委員会)

特集① 04 創設者 片桐龍子先生 生誕130周年

年表 出版物 新聞記事紹介 ほか

特集② 06 新型コロナウイルス感染症対策

各学科での取り組み WEB就職支援 など

特集③ 10 躍進 看護リハビリテーション学部

理学療法学科国家試験合格率100% ほか

12 トピックス

各務原国際協会とコラボ MIWAたからものソング創作 ほか

13 講演会など

現代福祉マネジメント ほか

14 保護者の皆さんへ

後援会決算報告 後援会会計予算報告 など



片桐龍子

明治23年(1890年)

5月

愛知県北設楽郡園村大足込の旧家に生まれる(1日)

幼名は原田ゆきの

足込小学校に入学

明治29年(1896年)

4月

豊橋裁縫女学校に入学

明治36年(1903年)

8月

豊橋裁縫女学校速成科を卒業

明治40年(1907年)

4月

東京裁縫女学校高等科に入学

明治42年(1909年)

4月

東京裁縫女学校高等科を卒業

明治43年(1910年)

3月

東京専攻科(洋服部)を卒業

明治44年(1911年)

9月

同校専攻科(洋服部)を卒業

大正元年(1912年)

10月

長男を出産

大正7年(1918年)

9月

岐阜裁縫女学校の設置、認可

大正10年(1921年)

3月

台風で校舎が大破

大正11年(1922年)

9月

新築校舎が落成

大正12年(1923年)

3月

関東大震災の被害者救済活動

大正13年(1924年)

3月

校舎の再建に着手

大正14年(1925年)

4月

新築校舎が落成

大正15年(1926年)

3月

新校舎の落成

大正16年(1927年)

3月

忠誠婦徳会館竣工。一階は講堂、二階は神殿

大正17年(1928年)

4月

忠誠婦徳会館竣工。一階は講堂、二階は神殿

大正18年(1929年)

3月

新校舎竣工、移転

大正19年(1930年)

4月

長男を出産

大正20年(1931年)

5月

岐阜裁縫女学校を設立

大正21年(1932年)

6月

台風で校舎が大破

大正22年(1933年)

9月

新築校舎が落成

大正23年(1934年)

1月

東京裁縫女学校を設置、校長に就任

大正24年(1935年)

4月

岐阜市田生越町の土地に校舎の建設を開始

大正25年(1936年)

3月

新校舎竣工、移転

大正26年(1937年)

11月

長男を出産

大正27年(1938年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

大正28年(1939年)

4月

岐阜裁縫女学校を設立

大正29年(1940年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

大正30年(1941年)

4月

岐阜裁縫女学校を設立

大正31年(1942年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

大正32年(1943年)

4月

岐阜裁縫女学校を設立

大正33年(1944年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

大正34年(1945年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

大正35年(1946年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

大正36年(1947年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

大正37年(1948年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

大正38年(1949年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和1年(1950年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和2年(1951年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和3年(1952年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和38年(1963年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和39年(1964年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和40年(1965年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和41年(1966年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和42年(1967年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和43年(1968年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和44年(1969年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和45年(1970年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和46年(1971年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和47年(1972年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和48年(1973年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和49年(1974年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和50年(1975年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和51年(1976年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和52年(1977年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和53年(1978年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和54年(1979年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和55年(1980年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和56年(1981年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和57年(1982年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和58年(1983年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和59年(1984年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和60年(1985年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和61年(1986年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和62年(1987年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和63年(1988年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和64年(1989年)

1月

岐阜裁縫女学校を設立

昭和65年(1990年)

特集②

新型コロナウイルス 感染症対策

～その1～



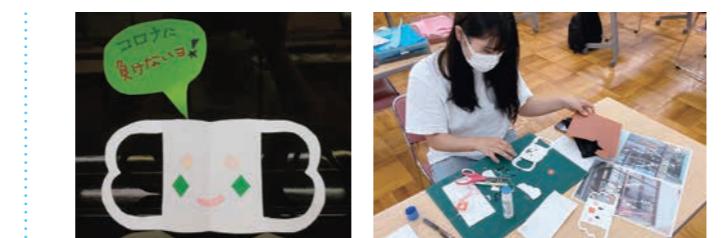
理学療法学科 スポーツ健康科学科 ほか 「おうちで模擬授業」オンライン動画配信

理学療法学科やスポーツ健康科学科などでは、自宅でも講義が体験できる動画「おうちで模擬授業」を作成し、大学公式のインスタグラムで配信しています。講義では、理学療法の基本である触診をはじめ、関節の構造と機能、スポーツ心理学、模擬実技として陸上競技などが取り上げられています。幼稚教育学科や社会福祉学科の講義も配信しています。

子ども教育学科

子どもの関心をマップで表現

幼児は日常生活での経験と照らし合わせながら、絵に描かれた内容や文字、情報について興味や関心を深めています。1年生の「幼児と環境」では、子どもが関心を示す図形や標識、文字、情報などを織り交ぜたポスターを制作しました。6月には「3歳児のクラスの子どもたちが、手洗いやマスクの着用の大切さを理解できるような掲示物作り」に取り組みました。



幼稚教育学科 マスクで子どもの世界を表現

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策にマスクは必需品。杉山ゼミ16名は、子どもたちに「こんなマスクがあったら楽しくなるね」「コロナに気を付けようね」という思いを込め、画用紙を使い、個性あふれるマスクを制作しました。学生は、クラフト作家の国枝英男さんのお手本をもとに、マスクを通じて子どもたちの世界を表現しました。

看護学科

実習に向けて激励 小冊子を贈呈

毎年開催している戴灯式を今年は自粛しましたが、7月からの領域別実習開始を前に、3年生に戴灯式の小冊子を贈りました。小冊子には、大学の古田善伯学長、片桐多恵子副学長(短期大学部学長)ら先生方からの温かい励ましのメッセージがつづられ、「キリスト教の教えを胸に看護師として歩んでほしい」という願いが込められています。



「誓いの言葉」
3年生代表 幅上 真穂さん

私たち5期生は看護師への次の一步を踏み出そうとしています。戴灯式のルーツであるナイチンゲールがクリミア戦争の際にキャンドルを灯し、患者さまに寄り添ったように、私たちも看護の灯を胸にこれから領域別実習に臨みたいと思います。これからも一歩一歩看護師になるための努力を積み重ねていくことを、ここに誓います。(一部抜粋)



社会福祉学科 介護現場にビデオメッセージでエール

介護福祉コースは、介護現場の安心と笑顔を支える力を目指し、学生と教職員と一緒に活動しています。今年はコロナ禍にある中、1年生は、懸命に働く介護の現場のスタッフや先輩、自宅で介護をしている家族の皆さんに「エールを送りたい」と話し合ってきました。感謝の気持ちとメッセージを動画にまとめ、動画共有サイトYouTubeで発信しました。

人間福祉学科

コロナと闘う介護従事者らにエール

人間福祉学科3年の飯尾ゼミ14名は、遠隔の中で「介護や福祉の現場で頑張っている皆さんに感謝の気持ちを伝えるために何ができるか」を考えてきました。現場の皆さんに思いを馳せることや、コロナ禍で自分の行動を自粛することなどを話し合いました。そして、オンラインを通じて、指や手を使ってハートポーズを表現した手話の写真やメッセージを寄せ、新型コロナウイルスと闘う介護従事者らの皆さんに感謝とエールを送りました。



認知症グループホームへの影響について緊急調査 人間福祉学部とNPOが連携

人間福祉学科の飯尾良英教授が理事長を務めるNPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター「びーすけっと」(各務原市)は、認知症グループホームでの新型コロナウイルス感染拡大の影響について調査を行い、結果を発表しました。

調査結果によると、緊急事態宣言中、入所者・利用者の安全確保のため、ほぼ全ての事業所で家族面会禁止・外部者の立入禁止が実施された一方、職員の出勤日数を減らした事業所はわずか6%にとどまったことが分かりました。

調査結果の分析と考察を行った飯尾教授は、「どのような状況でも日々の生活介護は普段通りに行わなければならず、職員に強いストレスがかかったことが推察されます。介護人材不足は続いている、施設の中のみで対応するには限界があります」と語り、社会的な制度を整えていく必要性を強調しています。

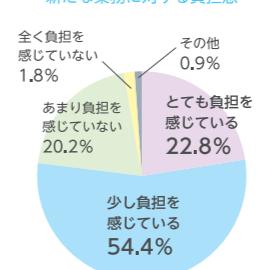
*調査は6月に岐阜県内全ての認知症グループホームを対象に実施。200件の回答があり、回答率は70%。

卒業生にコロナ感染拡大に関する緊急アンケート

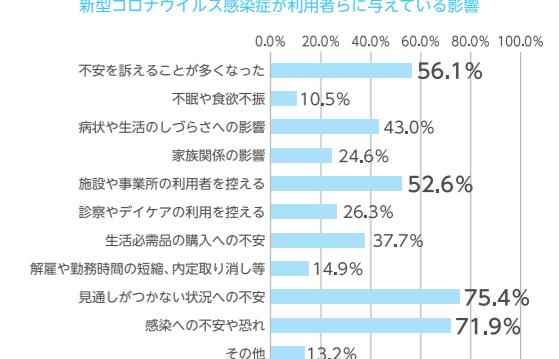
福祉現場などの実態を把握する必要があると考え、精神保健福祉コースの卒業生(通信教育課程を含む)に協力してもらい、緊急アンケート調査(4月20~24日)を実施し、114名の卒業生の皆さんから回答をいただきました(詳細はホームページ参照)。

*回答者114名(年代:20代63名、30代27名、40代16名、50代以上8名)/勤務先の所在地:岐阜県62名、愛知県16名、静岡県・長野県各4名ほか/所属:福祉施設・事業所50名、医療機関・診療所26名、高齢者施設10名、行政機関など20名、その他8名)

新型コロナウイルス感染症予防の新たな業務に対する負担感



「少し負担を感じている」「とても負担を感じている」を合わせると約80%に上り、現場の職員の皆さんの負担が大きくなっていると推測されます。



職員の皆さんは施設などを利用する方が抱いている不安感や恐怖心と向き合い、寄り添いながら支援を行うことが今まで以上に多くなっていることが考えられます。

本学における新型コロナウイルス感染症対策 相談窓口設置 給付金 寄贈ほか

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、学生・教職員の安全と健康を最優先とし、これまで必要な措置や支援を講じてきました。卒業生やNPO、連携協定先からの寄贈もありました。



学生に給付金や食料品を提供



インスタントラーメンなどの食料品を受け取る学生＝関キャンパス

新型コロナウイルス感染症の影響により、学生生活が困難となる学生に対して、本学と親交の深い特定非営利活動法人イエロー・エンジェル(代表理事 宗次徳二氏)のご厚意で、イエロー・エンジェル「緊急生活支援給付奨学金」の給付ならびに食料品の提供を実施しました。

今回の奨学金は、下宿生で、アルバイト収入が2分の1以上に減少した本学の学生を対象に、留学生を含む100人に一律25,000円を給付しました。また、食料品はインスタントラーメンをはじめ、レトルト食品や缶詰などが約1000食分、菓子類が約500袋(小分けした場合)、飲料水約900本が寄せられました。下宿生ら約700人(留学生を含む)に配布しました。

イエロー・エンジェルに感謝状

短期大学部の片桐多恵子学長が7月2日、イエロー・エンジェルの宗次徳二代表理事を訪ね、感謝の意を伝えました。片桐学長は「不安を感じている学生や留学生がいる中で、今回の奨学金では多くの学生の援助となり、感謝致します」とお礼を述べ、感謝状と学生からのお礼の手紙を手渡しました=写真=。

宗次さんは「お役に立つことができてうれしく思います。コロナ禍で思うようにいかないこともあると思いますが、一つ一つの経験が大きく成長させてくれます。前向きに捉え、目標や夢を失わず、これからも歩んでほしい」と学生にエールを送りました。



後期も感染症防止対策を徹底



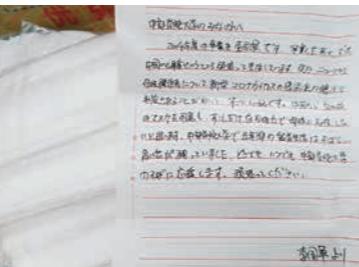
後期授業開始に向け、「3密回避」を徹底した教室環境の整備をはじめ、オンラインを利用した遠隔授業の活用など、前期に引き続き、感染症防止対策を徹底した上で、「新しい生活様式」を意識した教育・研究活動の展開を進めていきます。また、正門前での体温チェックなど感染症防止対策を徹底し、健康と安全を最優先とし、拡大防止に努めています。

JAめぐみの明方ハム寄贈



コロナ禍で寮や自宅での静養を余儀なくされ、十分な活動ができなかった硬式野球部の選手たちに、めぐみの農業協同組合が代表的な特産品である明方ハム500枚を寄贈しました。ニュースで母校の学生が新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けたことを知り、「すごく心配していました。少しでも応援したいと思いました」とメッセージを寄せてくれました。寄贈されたマスクは日本で頑張っている留学生に配布する予定です。

中国人卒業生がマスク寄贈



2013年度人間福祉学科を卒業した李国軍(リ・コクグン)さんが、中国からマスク500枚を寄贈しました。ニュースで母校の学生が新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けたことを知り、「すごく心配していました」とメッセージを寄せてくれました。寄贈されたマスクは日本で頑張っている留学生に配布する予定です。



Webシステムを活用



遠隔などの特別授業では、Webシステム「中部学院ポータル」を有効的に活用しました。ポータルを通じて、授業の案内や課題内容が学生の皆さんにメールで伝わるシステム。後期以降もオンライン授業など遠隔での特別授業が予定されているため、ポータルの役割が一層高まっています。

Web就職支援を開始



Web就職説明会、Web面接試験などの導入率が急激に高まっています。キャリア支援センターでは6月15日よりWebに連絡する就職支援を開始しました。Web模擬面接やWeb就職相談会参加における留意点の確認、Webを通じた就職の相談などです。後期に実施される就職ガイダンスや「仕事と人生」などのプログラムでもWeb対策を盛り込む予定です。

コロナ相談窓口を開設



学生と保護者の皆さんを対象にした『新型コロナウイルス感染症相談窓口』を4月に設置しました。感染症に関する不安や感染症に関連した授業の実施方法などの相談を受け付けています。医療機関への受診の仕方なども助言しています(平日午前9時~12時、午後1時~4時)。連絡先は電話0575(24)9308。メールはsupport@chubu-gu.ac.jp。



1期生が卒業した2017年度から2年連続で看護師の国家試験合格率100%を達成した看護学科=関キャンパス

1、2期生 2年連続国家試験合格率100%

学部別就職率ランキング全国15位 岐阜県1位

週刊東洋経済臨時増刊「本当に強い大学2020」の学部系統別就職率ランキング「看護系全国272校」で、本学の看護リハビリテーション学部看護学科が全国15位（岐阜県1位、東海地区2位）にランクインしました。東海地区の大学を見ると、本学は、四日市看護医療大学（全国5位）に次いで評価を得て、岐阜県内では他大学を抑えて1位となりました。

本学看護学科は2014年4月に開設。1期生が卒業した17年度から2年連続で看護師の国家試験合格率100%を達成しました。同学科の国家試験対策の特徴として、2年次から国試対策に取り組み、早い段階から確実に看護師にとって必要不可欠な知識と技術を身に付けられるようにしています。3年次では実習経験を振り返りながら問題の読解力の強化を図ります。4年次の後期からは「看護学特論」が始まり、各領域の専門教員が要点を伝え、本番に向けて追い込みをかけていきます。

応援
メッセージ

今年度の前期は、コロナ対策のため、慣れない遠隔授業。
各務原キャンパス保健室の西村美里先生が学生にエールを送りました。(ホームページインタビュー抜粋)



保健室では、学生健康診断の実施やその結果に基づいた生活指導、受診勧奨など健康管理の仕事が主軸です。健診結果が良くなくても「自覚症状のない」大学生の年代に健康管理の必要性を伝えることは難しいと日々感じています。

また、さまざまな背景の中で悩みを抱えて保健室を訪ねてくれる方もいます。支援者の一人と、保健室に来た学生さんが帰る頃には「ちょっと(こころが)軽くなったかな」と感じるようなケアに努めたいと考えています。

今は大学生活も通常ではないため、これまでとは違う困苦が多いかと思います。じっくり学べる大学生の間に多くを吸収し、卒業後さまざまな医療保健分野で活躍されることを楽しみにしています。

特集③

躍進 看護リハビリテーション学部



個別指導の徹底や特別クラスを設置するなどして国家試験対策に取り組んできた看護リハビリテーション学部理学療法学科の学生=開キャンパス

理学療法士 国試合格率100%

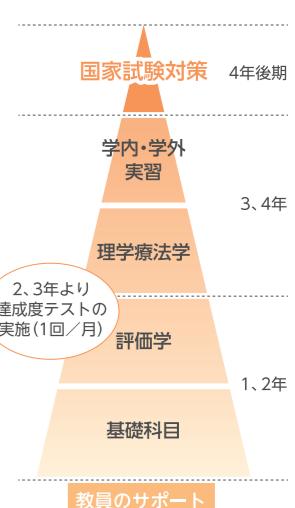
個別指導の徹底、特別クラスを設置

〔達成度テスト〕では、1年次に習得する「運動学」「解剖学」「生理学」などを中心に、専門基礎分野の知識の定着を図っています。4年前期の総合臨床実習では、計14週にわたり、大学病院や総合病院などの現場で実習を重ね、理学療法士にとって必要不可欠な知識と技術を身に付けます。

その上で、後期から本格的な国家試験対策が始動します。10月中旬から1グループ6～7人に分かれて「グループ学習」を行います。1日50問の過去問題、週1ペースで200問の模擬試験など、週に計400に上る問題を解

否のボーダーラインにいる学生には担当教員が積極的に個人面談を実施。苦手分野の把握を促し、学習方法などについてもきめ細やかな指導を行っています。

同学科の三川浩太郎国家試験対策委員長は「例年以上に受験者全員の合格を目指とし、きめ細やかな対策に取り組んできました。個々人の弱点分野を見つけ、学生一人一人に合わせた指導を心掛けた結果が今回の合格率100%につながったと思っています。来年度以降も受験者の全員合格を続けていけるように努めていきたい」と振り返りました。



理学療法学科
国家試験対策の特徴

- ①達成度テストの実施
(2、3年次)
 - ②グループ学習の実施
(4年後期)
 - ③特別クラスによる強化
 - ④個別指導による底上げ
 - ⑤充実した実習による
知識と技術を習得

講演会など

各界で活躍する先生を講師に招いて講演会や講義を開催しています。シティカレッジやスポーツカレッジも行っています。

現代福祉マネジメント

「介護×ICT」未来の仕事の在り方を考える

「現代福祉マネジメント」では、岐阜市で訪問介護事業や居宅介護事業、小規模多機能ホームなどを展開している日建ヘルスマディカル株式会社代表取締役社長の林芳弘氏を講師に招き、介護業界の状況や介護のより良い方向性などについて話を聞きました。

日建ヘルスマディカルはICTを活用したシステムを導入しています。情報を一元管理し、整理しながら、価値の高い情報を提供できる体制を整えています。例えば、褥瘡(じょくそう)や便など、言葉では表現しきれない状況を写真にして、医療者に正確に早く伝えられるようにしています。

林氏は「仕事はストーリー(人生)で考えます。自分の価値は経験の足し算。気づく力と実行する力を持ってほしい」と学生にメッセージを送りました。学生からは、「今まで介護はお世話をするだけと思っていたが、それだけではないことが分かった」「福祉の仕事への考え方があり、工夫することの大切さに関心を持ちました」など、これまでとは異なった視点から学びを深めました。



お知らせ 社会福祉学科冊子



異分野とのコラボ 新しい介護を紹介する冊子が完成

介護の現場では現在、異分野とのコラボレーションにより、新しい着想から介護の可能性を広げる活動が始まっています。短期大学部社会福祉学科は、「岐阜県介護人材参入促進事業」の補助を受け、異分野とのコラボを紹介する冊子『介護って楽しい！－新しい着想が介護の未来を拓く－』を作成しました。

冊子では、「ドッグ・ケアセラピー」「ICTの活用」「障がい者とアート」など6つのテーマについて、「介護+○○」というスタイルで、新しい介護に挑戦する活動を紹介しています。介護福祉の仕事に興味を持つ機会にしようと、県内の全ての高校に配布しました。

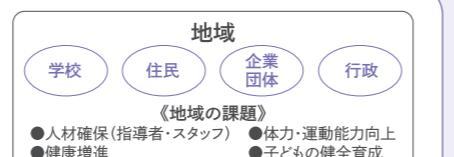


スポーツカレッジ案内

中部学院大学スポーツカレッジ発足1年 地域の活性化 教育力の向上を図る

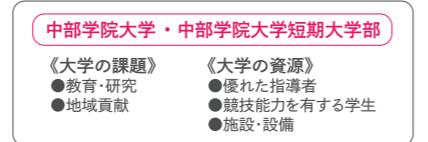
中部学院大学を拠点とした総合型地域スポーツクラブ「中部学院大学スポーツカレッジ」は昨年9月に発足し、1周年を迎えるました。このスポーツカレッジは、優れた競技能力を持つ学生や指導者、研究者、施設などのスポーツ資源を有する中部学院大学と地域が共に連携することにより、地域活性化、地域住民のスポーツ振興、地域教育力の向上、大学の地域貢献、学生教育を図ることを目的としています。

スポーツカレッジの特徴の一つは、本学の優秀な学生や指導者らが直接指導することです。参加者は高度のスポーツ技術を学ぶことができ、また学生たちにとっても、子どもたちや地域住民との交流を通じて、指導方法やコミュニケーション能力などを学ぶ機会となります。スポーツによる人づくりを通して、地域社会に貢献していきます。



中部学院大学スポーツカレッジ

協力



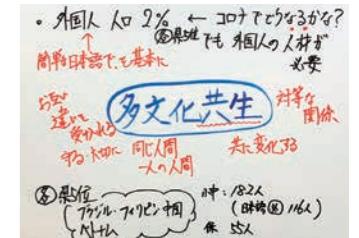
トピックス

各学部学科や部活動では、さまざまな研究発表や課外活動を繰り広げ、積極的に活動しています。

子ども教育学科と各務原国際協会がコラボ

昨年度より教育学部子ども教育学科の新井ゼミは各務原国際協会と共に「多文化共生」の学びを深めています。今年は3年生が多文化共生イベントを共同企画することになりました。5月のオンラインミーティングでは、同協会の方と4年生の先輩と共に、多文化共生の考え方について話し合いました。8月にはKIAフェスティバル実行委員会のワークショップにゼミ生2名が参加し、楽しい企画案を出し合いました。フェスティバルのねらいは、地域在住の外国人と日本人が企画段階から協働し、一緒に1つのことを成し遂げることを通じて、多文化共生の精神を理解し合うこと。11月22日に開催予定です。

※KIA:Kakamigahara International Association



美濃加茂市三和地区「たからものソング」創作

短期大学部幼稚教育学科の杉山ゼミは2016年度から、地域連携協定を結んでいる美濃加茂市と活動を進めています。今年度は同市のアクションプランから「教育 ふるさとを好きになれる」をテーマに、北部に位置する三和地区を舞台に「MIWAたからものソング」を創作することになりました。同地区の三和小学校では、ホタルの保護活動を地域と一緒に実施しているほか、ヤギやオリーブなどを育てています。それらの取り組みを「うた」で表現することにより、地域住民の関心を高めると共に、外部への発信に一役を担うことを目指します。児童と学生で作詞・作曲し、地域で特技を持つ人たちと協働で仕上げることにしています。



トーカイと災害時の相互支援協力協定を締結

本学と株式会社トーカイは5月1日、巨大地震や豪雨などの災害が発生した場合または発生のおそれのある場合に備えるため、相互が支援する協定を締結しました。災害時にトーカイから本学に対し、学生および教職員などへの生活必需物資等の提供を行います。本学は、トーカイの車両や生活必需物資などの一時収容のため、施設を提供します。お互いの強みを生かした相互支援を行い、災害時に支援する体制を素早く整えることが期待されます。

医療事務コースが歯科助手養成校に認定

短期大学部社会福祉学科医療事務コースは、岐阜県歯科医師会から日本歯科医師会認定歯科助手養成校に認定されました。歯科助手の仕事は、歯科医院での受付、電話対応、診療準備などを主とした歯医者のアシスタント業務を行うスタッフ。同コースでは来年度から「日本歯科医師会認定歯科助手 乙種第一、乙種第二」の2資格が取得できるようになります。同医師会で定められた訓練科目(医療機関での実習を含む)を開講する予定です。

2019年度後援会 決算報告書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:円)

項目	予算	決算	差異	備考
会費	58,240,000	56,244,000	1,996,000	2019年度会費 56,244,000円
雑収入	利息等	100	116	△16 預金利息
前年度継越金	13,071,077	13,071,077	0	
収入の部 合計	71,311,177	69,315,193	1,995,984	

【支出の部】

項目	予算	決算	差異	備考
会議費	400,000	257,986	142,014	役員会費、交通費
事務費	150,000	47,295	102,705	事務用品、消耗品
事業費	60,700,000	53,686,863	7,013,137	
大学報発行費	1,200,000	1,037,044	162,956	
祝賀行事費	1,800,000	1,274,490	525,510	卒業記念品他
広報活動費	0	0	0	
学生行事費補助	3,500,000	3,500,000	0	大学祭補助
クラブ活動費補助	35,000,000	33,684,785	1,315,215	活動費、参加費、講師料等
バス借上費	9,000,000	7,022,630	1,977,370	バス借り上げ、高速料金等
学生支援費	800,000	545,634	254,366	奨学金送付レター・パック、学生調査費等
キャリア支援費	1,500,000	1,115,070	384,930	就職対策講座費等
教育活動費	900,000	836,574	63,426	保護者懇談会諸費用
環境整備費	500,000	474,856	25,144	キャンパス内環境整備費
図書補充費	1,500,000	1,549,400	△49,400	学生用書籍・DVD購入費
厚生施設備品整備費	2,000,000	152,950	1,847,050	学生厚生備品購入費
灾害傷害保険料	3,000,000	2,493,430	506,570	学生教育研究災害障害保険料等
慶弔費	600,000	530,660	69,340	香典等
雑費	300,000	259,586	40,414	振込手数料等
特別会計繰入	3,000,000	3,000,000	0	
[予備費]	500,000	500,000	0	
当年度支出合計	65,650,000	57,782,390	7,867,610	
次年度継越金	5,661,177	11,532,803	△5,871,626	
支出の部 合計	71,311,177	69,315,193	1,995,984	

特別会計報告書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:円)

【厚生施設設備積立金】

科目	予算	決算	差異	備考
積立金	2,000,000	2,000,000	0	一般会計より戻入 寄付金支出
雑収入	0	2,729	△2,729	受取利息
前期継越金	32,220,316	32,220,316	0	次期継越金 32,220,316 34,223,045 △2,002,729
合計	34,220,316	34,223,045	△2,729	合計 32,220,316 34,223,045 △2,002,729

【緊急時等対応基金】

科目	予算	決算	差異	備考
積立金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計より戻入 緊急対応
雑収入	0	162	△162	受取利息
前期継越金	19,063,870	19,063,870	0	次期継越金 19,063,870 20,064,032 △1,000,162
合計	20,063,870	20,064,032	△162	合計 19,063,870 20,064,032 △1,000,162

【後援会修学資金】

科目	予算	決算	差異	備考
積立金	0	0	0	一般会計より戻入 奨学生貸付
雑収入	0	1,037	△1,037	受取利息
返還金	1,058,500			
奨学生貸付未収入金				
前期継越金	31,731,045	31,731,045	0	次期継越金 31,731,045 31,275,382 455,663
合計	31,731,045	32,790,582	△1,059,537	合計 31,731,045 32,790,582 △1,059,537

*雑収入(受取利息内訳 普通:181円、定期:856円)

*次期継越金(内訳 普通:21,170,606円、定期:10,104,776円)

2019年度中部学院大学・中部学院大学短期大学部後援会 3月31日現在の収支報告は監査の結果、適正に執行されていることを認めます。

2020年度後援会 会計予算書(案) (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:円)

【収入の部】

項目	2020年度予算	2019年度実績	差異	備考
会費	60,928,000	56,244,000	4,684,000	1,904人×32,000円
雑収入	利息等	100	116	△16 預金利息
前年度継越金	11,532,803	13,071,077	△1,538,274	
収入の部 合計	72,460,903	69,315,193	3,145,710	

【支出の部】

項目	2020年度予算	2019年度実績	差異	備考
会費	400,000	257,986	142,014	役員会費、交通費
事務費	150,000	47,295	102,705	事務用品、消耗品
事業費	61,000,000	53,686,863	7,313,137	
大学報発行費	1,200,000	1,037,044	162,956	大学報発行費
祝賀行事費	1,800,000	1,274,490	525,510	卒業記念品他
広報活動費	0	0	0	
学生行事費補助	3,500,000	3,500,000	0	大学祭補助
クラブ活動費補助	35,000,000	33,684,785	1,315,215	活動費、参加費、講師料等
バス借上費	9,000,000	7,022,630	1,977,370	バス借り上げ、高速料金等
学生支援費	800,000	545,634	254,366	奨学生用資料郵送費・学生調査費等
キャリア支援費	1,500,000	1,115,070	384,930	就職対策講座費等
教育活動費	900,000	836,574	63,426	保護者懇談会諸費用
環境整備費	500,000	474,856	25,144	キャンパス内環境整備費
図書補充費	1,500,000	1,549,400	△49,400	学生用書籍・DVD購入費
厚生施設備品整備費	2,000,000	152,950	1,847,050	学生厚生備品費・学生食堂整備費等
灾害傷害保険料	3,000,000	2,493,430	506,570	学生教育研究災害傷害保険料等
慶弔費	600,000	530,660	69,340	香典等
雑費	300,000	259,586	40,414	振込手数料等
特別会計繰入	3,000,000	3,000,000	0	厚生施設設備積立金 緊急時等対応基金
[予備費]	500,000	500,000	0	
当年度支出合計	65,950,000	57,782,390	8,167,610	
次年度継越金	6,510,903	11,532,803	△5,021,900	
支出の部 合計	72,460,903	69,315,193	3,145,710	

学生数・出身地・下宿 状況 (2020年5月11日現在)

大 学	学 生 数	学 科		
		男	女	計
	人間福祉	240	171	411



中部学院大学 大学院 / 大学 / 短期大学部
Chubu Gakuin University & College



中部学院大学
同短期大学部

[関キャンパス] ☎501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
[各務原キャンパス] ☎504-0837 岐阜県各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600

[大学院] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)

[大学] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース／精神保健福祉コース／介護支援コース／地域貢献コース) 通信教育部 ◆教育学部 子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース／幼稚園教諭・保育士コース) ◆看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科 ◆スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康コース／障がい者スポーツコース／スポーツ経営コース)

[短期大学部] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース／障がい児保育コース／子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(介護福祉コース／美・デザインコース／医療事務コース)